

ぱる通信

地域精神保健福祉コミュニティー誌

6 / 01

JUNE 2010 No. 154

◎特集

あすなる福祉会の就労支援



『ぱるスペースMOMOシェフ』 吉田 優

ぱるスペースMOMOのシェフとして勤め10年余り。これまで毎日「日替わりランチ」を提供してきた。『ここにたどり着くまで、色んなことがあった』と振り返る。20代のほとんどが、入退院の繰り返し。『今の仕事は自分にとっての誇り。もちろん、しんどいときもある。しかしそこを乗り越えたら、次に進める一步になっていく。少しずつ自分が成長している』。ランチタイムには気軽にお客さんに声を掛け、多くの方に親しまれている。『見守ってくれるお客様、メンバー、スタッフなど、色んな人に支えられている。お客様の笑顔で元気になれる。メンバーが僕に勇気を与えてくれ、僕の活力になっている。MOMOに来れば元気になれる、そんな場所です』。

あすなろ福祉会の就労支援

あすなろ福祉会の就労支援

『自分らしい生き方』を応援する

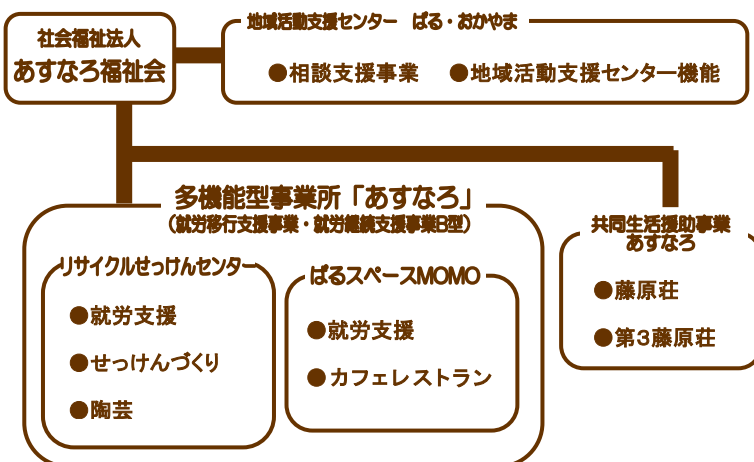
あすなろ福祉会が誕生し15年。今まで多くの方と出会い、『楽しく意味のある生活、自分らしい生活を送る』ために、利用者の方々と模索し、共に歩んできた。特に最近5年間は、「働く」ことに対する支援に力を入れてきた。『働く』ことで、社会や地域とつながり、リカバリーにつながる』ことを実感している。

これまでの就労支援の取り組みについて紹介したい。

あすなろ福祉会誕生

1984年、岡山市で共同作業所を開設して以来、共同生活住居の運営と合わせ、精神障がい者の地域における生活支援の試みを実践してきた。

1995年、市民の支援を得て社会福祉法人を設立し、「リサイクルせつけんセンター」を立ち上げた。続いて1997年、地域生活支援センター「ばる・おかやま」の事業認可を得て、同年秋に家族会運営の作業所、「ばるスペースMOMO」が開設され、同時にグループホームの運営を開始している。



現在では、障がい者自立支援法の体系へ移行し、「多機能型事業所あすなろ」(リサイクルせつけんセンター・ばるスペースMOMO)、「地域活動支援センターばる・おかやま」、「共同生活援助事業(グループホーム)あすなろ」の事業所運営を行っている。

就労支援の取り組み

2004年、「改革ブランドデザイン案」の発表を受け、施設体系・事業体系の見直しを行った。当時、授産施設であった「リサイクルせつけんセンター」で「就労移行支援事業」を想定し、プレ就労プログラムを実施している。プログラムの内容は、「リサイクル事業」を行う事業所に協力を頂き、「リサイクルせつけんセンター」から就労を希望するメンバーが出向し、就労のためのトレーニングを行うというものだった。

訓練当初は利用者が意欲的に取り組んでいたが、中にはだんだんと意欲・動機を失うメンバーも出てきた。いくら訓練の場で経験を積んでも、働く形態や仕事内容は多種多様である。就労支援の在

り方について模索していたところ、アメリカのIPSモデルの存在を知った。

2005年、アメリカでIPSモデルの研修を受け、帰国後全スタッフで共有する中で、様々なことが見えてきた。

「働きたい」気持ちにすぐに応える

IPS (Individual Placement And Support) 「個別職業紹介とサポート」については「ばる通信4月号」でも紹介したが、1990年代にアメリカで開発され、働くことに大きな希望を持つ人々を手助けするプログラムである。

これまでの就労支援の在り方は、本人の課題を見つけ、それを訓練してできるように取り組んでいくことに力が注がれていた。しかしIPSモデルでは、『働きたい』と希望する方は、迅速に求職活動を始め職に就いた方が、効果的である」という考えに基づいている。しかも、症状の重さに関係なく、本人の長所、やりたいことを最大限に尊重することが重要だ。

まずはスタッフの、「準備が整った人でないと、就労は無理」とい

あすなろ福祉会の就労支援



就労セミナーでの面接練習の様子

積極的な職場開拓

う考えを捨てることからスタートした。「どんなに症状が重くても、『働きたい』という意欲と、必要なサポートがあれば、誰でも働くことができる」ということを大切にして、新たな支援がスタートしたのだった。

実際の支援は、利用者が「働きたい」と思った時点から開始される。これからどんな人生を送りたいのか、今後の目標、希望を確認し、これまでの職歴、希望する仕事内容、条件などを整理していく。

実際の職探しは、ハローワーク

や求人誌、職場開拓により希望の仕事を見つけられるようサポートを行う。IPSモデルの就労支援のポイントは、仕事のマッチングにある。本人の希望や長所を活かした仕事に就くことで、リカバリーの手助けになるのだ。

地元企業と連絡を取り、積極的に職場開拓を開始した。企業と交渉することで、よりその方に合った職場環境を整えることができるのだ。企業の持つニーズを知ることと、他の人にマッチングする可能性もあり、予想外の財産もあつた。

「希望する仕事がある、どのくらいできるか不安だ」という方については、実際の職場での実習を行っている。事業主の方に、その方の持つ能力、働きぶりを見てもらい、アドバイスをお願いしている。

採用後も仕事に慣れるまで「職業セクター」や「あすなろのスタッフ」がジョブコーチとして職場に入りサポー

トを続けていく。更に、定着後も本人や企業の不安に適時対応し、定期的に職場訪問なども行っている。

就労者数が急増

2008年、「障害者自立支援法」の体制に移行し、現在では「就労移行支援事業定員18名」「就労継続支援事業定員20名」の「多機能型事業所あすなろ」としての運営を開始した。

2004年には5名だった就労者が、2009年には20名に増えている。最近では、雇用率に精神障害者が算定されるようになり、更に精神障害者の就職を応援する制度も増え、障害を開示して就労する人が増えてきた。

就労した職種は多岐に渡り、福祉関係の仕事、受付・事務、清掃業、製造業など様々だ。働く時間は、週3日、一日3時間程度から、フルタイムまで、その方の希望に合わせている。

夢・希望を持って自分らしく

法人理念のキーワードとして「Recovery&Support&Hope（リ

カバリー&サポート&ホープ）」に重点を置き、様々な活動を行っている。「精神障がいのある方が、人としての誇りと自信を回復し、何よりも自分の希望・要求・意思に基づいて、人に気兼ねすることなく、臆することなく、自分らしい人生を歩んでいける」ことを目指しサポートを続けている。

「働くことがリカバリーにつながる」ことは就労している方の表情からも伝わってくる。利用者の方が既に持つ強み、これからの可能性を信じ、「自分らしく生きていきたい」よう、支援を続けていきたい。



アメリカ訪問時、ストレングスモデルの提唱者「チャールズ・ラップ」氏から頂いた「リカバリーの木」ポスター

企業訪問



オハヨー乳業株式会社 総務部
千葉 智之さん

障がい者雇用促進に向けて

【オハヨー乳業株式会社 会社概要】

- 設立 昭和28年6月29日
- 従業員 665名
- 本社 岡山市中区神下565



☎086-279-1231

支援者がいる

ことで得られる安心

障がい者雇用を行っていく中で感じていることについて伺った。「二番難しいと感じたのは、コミュニケーションの部分でしょうか。私達を感じている以上にナイーブな方もおられ、接し方について判断に迷うことがあります。間に支援者の方が入って頂いて助かっている部分が大きいですね」

採用面接でのポイント

人事採用にも携わっている千葉さん。面接で重視しているポイントについては、

「食品メーカーなので、まじめに誠実に仕事に取り組んで頂ける方を求めています。私たちは腐りやすい牛乳という商品を扱っていますから、そのような商品を取り扱う気持ち、心構えを持って頂ける方がいいですね」

面接を受ける際には、その企業の事業内容、それに伴いどんな人材を必要としているのか知ることが重要だ。

更に面接場面では、「どうい

オハヨー乳業株式会社は、1953年（昭和28年）に設立されて以来、『ひとりでも多くの皆様に、気持ちを込めた「おいしさ」で笑顔をお届けしたい』という企業理念のもと、「おいしさ」にこだわり、追及を続けてきた。

本社工場は、岡山市中区神下にあり、全国7か所に支店、11の営業所、本社工場を含め全国に3か所工場がある。

「商品には、かなりこだわりを持っていきます。例えばフルーソーグルトには、他企業であれば、ジャムを使ってソーグルトに入れている場合もあります

が、自社の場合、本物のフルーソを使っていきます。生のイチゴを直接農園から仕入れ、高い技術で殺菌を行っています。素材そのもののおいしさを届けることができるよう、こだわりを持っています」

そう語るのは、本社工場、総務部人事担当の千葉智之さんだ。

現在本社工場には、9名の障害者を採用しており、清掃、工場内での製造、事務など様々な職務に就いている。

オハヨー乳業株式会社とあすなろ福祉会との出会いは、今から3年前、職場開拓を行うため、電話を入れさせてもらった

のがきっかけだった。突然の電話にも関わらず、話し合いの場を設けて頂き、面接、採用へと至った。

「これまで障がい者雇用を行う場合、ハローワークからの紹介がほとんどでした。今まで福祉施設とはつながりはなかったのですが、初めてこのような形を取りました」

仕事を続けていく中で出てくる不安や悩みなどに対し、幾度となく話し合いの場を設け、仕事内容、仕事時間の調整など、柔軟な対応をして頂いている。



オハヨー乳業株式会社 社員
峠元 由紀さん

清掃業務の仕事に携わり 3年半になりました。仕事を始めた頃は、「長く続けられるだろうか?」「仕事を覚えらるだろうか?」と不安でした。しかし、仕事が分らない時には、職場の先輩が丁寧に教えてくれ、とても働きやすい職場です。

仕事上の悩みが出てきたときは、話し合いの場を設けて頂き、解決することができ

ています。職場に相談できる相手がいるということも大きいです。

仕事を辞めたいと考えたこともありましたが、職場で友達ができたり、先輩の支えもあり乗り越えられています。

これからは、更に新しい仕事内容にも挑戦していきたいです。今の仕事にとっても満足しています。

人柄なのか」を知り、会社側が求めている人材と本人の希望が上手くマッチングできるよう、今までの職歴について一つずつ確認をしていく。当然退職した理由についての質問もある。

「答えたくない部分についてもあるのではないかと思うのですが、お聞きしないと分からないこともあります。『給料が安くて辞めた』ということであれば、『うちも残念ながらこのような条件ですが大丈夫ですか?』とお聞きします。マッチングが上手いくためにも必要な作業です」

志望動機は

自分の言葉でアピール

「なぜ自社を選んで頂いたのか、興味を持って頂いたのかはお聞きしています。『家が近いから通勤が便利』という理由なら、『長く勤めて頂けるかなあ』と考えることができます。志望した理由は、そのまま素直に言っている方がいいんですよ。採用に至らない方というのは、面接でその方がどんな人柄なのか見えてこない。その方の素が出て初めて、人柄や性格を知ることができます。あまり取り繕う必要はないですよ」

面接場面ではマナーを踏まえた行動や態度が基本だが、あまりに模範解答ばかりでも良くない。自分の言葉でのアピールが重要となりそう。

これから働きたいと希望する障がい者の方へ、

「『自分はこういうことができます』しかしこの部分については苦手だ』という点についてきちり伝えていくことが必要だと思います。面接では、企業が求めている人材と上手くマッチングできるかどうかということを検討していきますので、それらのことを伝えていくことはとても大切です」

自分自身について知る

自分自身の今までの経験・技能など、その企業で生かすことができること、逆に苦手なことを整理していくことが必要だ。

「企業」を知ること以上に「自分自身」について知ることが大きなポイントになりそう。

最後に、これから障がい者雇用を促進していくために必要なことを伺った。

「最近採用した障がい者の方は、ジョブコーチ制度を利用しているのですが、支援者がいるというのとは、とてもありがたいと思います。今回採用した方も、制度などを積極的に利用したいという気持ちがあります。ご本人が企業側に伝えることも、身近な存在の方には伝えやすいということもあると思います」

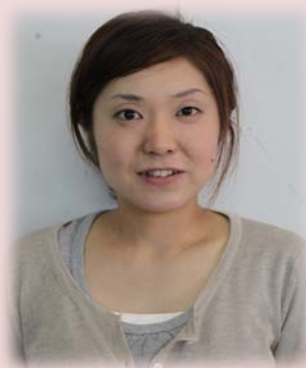
今後の障がい者雇用について、「工場内の作業環境を整え、製造業務に障がい者雇用を拡大していきたいと思っています」と今後の目標について語ってくれた。

『リサイクルせっけんセンター』

事業内容 就労移行支援事業／就労継続支援事業

住 所 岡山市中区浜475-5

☎ 086-273-9692



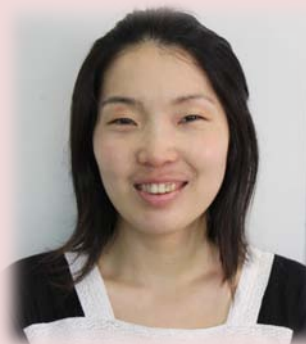
小林 幸代

あすなろでは、一人一人の希望を大切にしたい支援を行っています。
「一番は「働きたい！」という気持ち

精神病院に20年入院した経験がある63歳のAさんは、「働きたい！」という強い気持ちを持ち続け、一般就労することができました。仕事に就く事も、仕事を続ける事も、「働きたい」という気持ちがあつてこそです。「働きたい」という気持ちと、それを応援してくれる周囲の人の支えさえあれば、就労は可能なのです。

自信を取り戻せる場を目指して

働きたいけど自信がないという方もたくさんいます。あすなろでは、本人の興味や関心、良い所や得意な事を見つけ、力を発揮してもらふことで、自信を取り戻せるような場作りを目指しています。



窪田 和恵

これからの可能性を信じて

メンバーの皆さんの個性、生活習慣、今後の夢etc.実に様々で、日々の関わりの中でも新しい発見がたくさんです。無口でおとなしいイメージの利用者の方が外勤作業で炎天下の下、黙々と機械の分解作業に取り組みだれて、「こんなたくましい一面があつたんだ」と驚かされたり、スポーツで生き生きと活躍する姿に尊敬させられたり・・・みなさんのことを知れば知るほど、その先の可能性を考えてみたくなります。

『私達は利用者の皆さんが自分の力で回復していくためのお手伝いをする』ということを大切に、スタッフの思いを押し付けすぎないよう、今できることよりほんの少し先を目指して一緒に頑張っていきたいです。



亀山 正喜

「働きたい！」気持ちを支える

先日ある研修に参加させてもらい、興味深い話を聞くことができました。それは、「障がいがある方で仕事が続いている人と継続していない人の違いは何であるか？」という調査です。それは一体何なのか？年齢？性別？障がい種別？否、それは「意欲（やる気）」だそうです。つまり、年が若からうが、男性であろうが、女性であろうが、そんなことは全く関係なく、「働きたい」、「働き続けたい」そう強く思っている人が仕事を継続しているという結果がでたそうです。

思い返してみると、あすなろを卒業して就職された方は、全員が「働きたい」と強く希望されていた人だったと思います。これから「働きたい」と希望される方の力になれたらと思っています。

『ぱるスペースMOMO』

事業内容 就労移行支援事業／就労継続支援事業

住 所 岡山市北区内山下1-15-7

☎ 086-801-2771



「夢」を叶えませんか？

「新しい事への挑戦」には、「夢」と「期待」がたくさんある一方、抱えきれない程の「不安」や「失敗」があるのは当然です。私自身、未だに「失敗」や「しんどい事」がたくさんあります。でも、「あすなろ」から一歩踏み出した利用者の「笑顔で働く姿」を目にしたたり、「辛いけど、辞めたくない！」という言葉を聞いたりする度、勇気づけられ、励まされています。

ココには、「どんな時」でも、「どんな自分」でも受け入れてくれます。「仲間（利用者&スタッフ）」がいます。その仲間の「頑張っている姿」から、「自分もちょっとチャレンジしてみようかな…」という気持ちにもなれ、同時に、同じ「不安」を持った「仲間」にも「小さな勇氣」を与えられる存在になれると思います。一緒に、「夢」を叶えませんか？



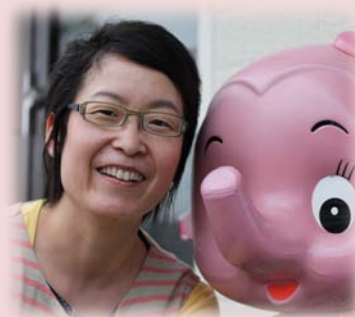
阿部 瞳

「達成感」から得られる自信

MOMOで働き始めて半年が経ちました！

帰りのミーティングでは、「千切りが上手にできたのでまた頑張りたい」「お客さんがたくさん来てくれると体はしんどいけど元気ができます」など、接客や料理の盛り付けのアイデアなど意欲のある意見も出ています。やる気や達成感は仕事の楽しさにつながっています。

MOMOでは、利用者一人一人のペースと希望に沿った作業内容を心掛けています。作業を通し、『仕事に関する難しさ』、例えば「時間を守る」「臨機応変に動く」「人間関係」など、『楽しさ』、例えば「仕事をきちんとこなす事ができた」「みんなと協力することができた」などの経験を、一般就労への励みや自信につないでいけたらいいなと思います。



志茂 みさき

「リカバリー」を応援

「働きたいけど自信がない」「自分にどんなことができるのか分からない」、そういった思いに、「せっけんセンター」や「MOMO」という場所での活動を通じて、自信を回復し「働きたい！」という一歩が踏み出せる応援をしています。そして、「やりたい仕事」を實現に向けていくために、「夢」や「希望」を聞くことから始まります。

就労していった利用者は、働くことで色んな人と関わりを持つようになり、他者とのつながりがあり、き、それらを通して自分の存在意義を確認できるということを実感しているようです。

これからも「あすなろと出会えてよかった」という利用者が一人でも増えるよう、一人ひとりの「リカバリー」を応援します。



杉原 直義

よつばのクローバー だより

…ひとりぼっちをなくそうよ…

■編集・発行 ピアサポータークローバー

☎086-271-5689

平成 22 年6月 1 日

No.5

活動報告

(4/21~5/20)

■活動日15日(水・木・金は半日)

■電話相談 46件

■交流室利用者 延べ126名

■家事援助 5件

■弁当配達 12回

■第8回つどいを開催

今回のテーマは「苦手な人との付き合い方」



5月12日(水)「第8回つどい」をばる・おかやまで開催しました。今回は前回のテーマ「人のかかわり方、人付き合いについて」に引き続き、対人関係に関する内容でした。参加者は9名で、各々の思いを語り合いました。

出た意見として「苦手な人はみんなそれぞれ存在する」、「社会に出て仕事をしていた時に苦手な人がいた」など、生活をする中で、出会っているようでした。

具体的に苦手な人として、「歳の差が開いている人」「自分と世界が違う人(趣味やテンション、価値観など)」「自分の価値や意見を



つどいの一場面↑

次回は6月16日

(水) 13時半~

「将来の夢、これからの目標について」

がテーマです。

みなさん気軽に参加してください★そして語り合しましょう!



押し付けてくる人」「コミュニケーションが取れない人」等が挙げられました。「自分では気付いていないが、苦手な人は自分と似ているのではないか」という意見もありました。

そのような人と付き合う方法として「近すぎず遠すぎず、適度な距離を置いて付き合っている。それをコントロールするのが難しい。」また「第3者に相談をしてアプローチしていくのもひとつの手段。」「自分が苦手だと思っていると相手も同じように思っていることが多い。苦手意識を持つとますます苦手になるので、その人の良い所を探したり、少し違う視点からみることも有効かもしれない。」「自分の思い込みからきていることもある。」など挙げられました。

参加しての感想として「自分だけじゃなくみんな同じということが分かってホッとした。」「みんなと話ができて元気がもたらえた。自分では自分だと思っていた。」など熱い語り合いの場となりました。

■ばるで映画上映会
5月6日、第1回映画上映会「movixばる」を開催しました。新しくなったばかりのテレビで、「BALLAD 名もなき恋のうた」を6名で観賞しました。

部屋を暗くして観賞している様子↓



●感想

「みんなと観る楽しさがあつた、感動も倍増した。」「お菓子のポップコーンがおいしかった。」などなど楽しめたようでした♪

●観賞者の総合評価

3.6★★★★★でした(5つ星のうち)

次回は 6/4

「おっぱいバレー」

を観賞します。

日時:6月4日(金)14時

場所:ばる・おかやま 1 階

詳細はお電話下さい★

■movix ばる

ばるで映画を見よう、語ろう!

観たい映画を
募集中♪♪♪





【発表者Sさんの感想】
 雰囲気緊張してしまいましたが、学生さんは真面目に聞いて下さり、いい刺激になりました。また同じメンバー同士の普段聞けないようなお互いの病気のことや、思いを聴くことができ、理解が深

5月13日旭川荘厚生専門学校で精神保健福祉士を目指している学生を対象に「コンシューマー」として精神保健福祉士に望むことという内容で、クローバーのメンバー2名、ぱるスペースSMMOのコンシューマースタッフ吉田さん、スタッフ1名で発表をしました。

講演活動をしてきました。



■コンシューマーとして精神保健福祉士に望むこと

まった気がします。コンシューマーとして精神保健福祉士に望むこととして、私は「人として扱ってほしい、友達のようにいてほしい」ということを伝えました。吉田さんは「相手は自分よりも年上の人が多いだろうから人生の先輩として接してほしい。」
 同じくピアサポーターのYさんは「病気はあまり上り調子によくないので、ひどい状態になった時もあきらめずに長い目で見てほしい。支援者として『仕事をやる！』という姿勢ではなく、料理やスポーツのレクリエーションと一緒に楽しむことができれば良いと思います。コンシューマーに何かをするのではなく、一緒にするというのが大切だと思います」という話に私もうなずかれました



発表をしている様子↑

■3人の方のお話を聞いて、どの方もはっきりとした口調で話されていて、一見障がいも何もないように見えました。けれどお話の内容から今までの経緯、病気の苦しみ、生活上の困難など自分の想像を超えるものが多く衝撃を受けました。
 PSWに望むことについての話も心に響きました。「一人の人としてみてほしい」「温かい目でみてほしい」「長いスパンでみてほしい」「受身で共になんばってほしい」みさんがこれまでの経験の中でワーカーに対して、また周囲の人々に感じた気持ちであり、自分たちに「こんな人になって欲しい」という思いを込められたメッセージだと思いました。そんなワーカーになれるように今後さらに勉強をしていこうと思います。
 ■今日は、貴重なお話をありがとうございました。今まで体験や感じた思いをひとつひとつ

学生さんのコメントを紹介します



た。時間もだいぶ押してしまったのですが、学生さんは真剣に聞いて下さり、コメントシートにびっしりと感想を書き込んでくれ、嬉しく読ませていただきました。

募集
中!

あなたの体験を語りませんか?

あなたの今までの人生の経験。今、がんばっていることを語ることで励みになる方、元気になる方がたくさんいます。

クローバーはリカバリーを広める活動をしています

相談
電話

■今月の相談電話の受付時間

火曜日 10時～17時
 水曜日 13時半～17時
 木曜日 10時～13時半
 金曜日 10時～13時半

相談 TEL ☎
 (086)
 271
 5689

よろしく願います! 気軽に
 下さいね。

話して下さり大変勉強になりました。まだまだ勉強を始めて日も浅く不安もありますが、どうしたら双方がよりよい関係に、自分らしく共に生活をしていけるのか手探り状態です。今日は教科書やネットでは得ることのできない『生の声』が私にとってはこれから勉強していく中で励みになりましたし、目指しているPSWとしての一番大切な根っここの部分になりました。「一緒に考えて一緒に成長!」この言葉がとても嬉しかったです。こうしてお話を聞かせてもらえる機会を与えて頂き本当にありがとうございました。

ぱるっこに聞いてみました。

ぱるっこ広場



私の好きな歌・思い出の歌

- ・キロロの「Best Friend」
- ・ユニコーン「おかしな二人」
- ・昔好きな人を想いながら聴いていたから。
- ・「恋」松山千春が好きだから。
- ・柏原芳恵「春なのに」高校の謝恩会の時に歌った思い出の曲。
- ・「魔王」クレイジー
- ・「瀧月夜」冬景色「小学校の時から歌いながら帰っていてメロディと歌詞が大好きでした。しみじみと幸せになりました。」
- ・ミスチルの「未来」
- ・浜崎あゆみ、倅田くみの歌。ヒルクライムの「春夏秋冬」元気がでます。勇気づけられる。
- ・スピッツ「ロビンソン」心が癒されます。
- ・本田みなこ、藤あやこ「深深深」良い気持ちになる。
- ・イーグルスの「ホテル・カリフォルニア」。イーグルスのボスターを部屋に貼った。
- ・「神田川」初めて音楽に目覚めた歌だから。
- ・「カブトムシ」聴くたびに初恋の甘い気持ちがよみがえってきます。
- ・HYの「あなた」
- ・「仰げば尊し」高校卒業時学友と共に歌った歌。これから社会人として船出をしようとする不安を覚えながらだった。この時にもらった1冊のバイブルが自分の人生を支えるものになった。今から思うと教師の愛情を思い起こす今日この頃である。
- ・木村カエラの「Ring a Ding Dong」

自分の主治医に一言！

- ・さっぱりしていてホッとしています。
- ・もっと面白いこと言って！
- ・今のままで充分。
- ・いつもありがとうございます。
- ・そろそろ引退して下さい。
- ・ちゃんと話を聴いてくれて、違う所はちゃんと反応してくれて、聡明さとユーモアさが好きです。そんな先生の人柄に救われています。先生ありがとう。手のかかる私ですがこれからもよろしく願います。
- ・もう少し話を長く聴いてほしい。
- ・もっとちゃんと診察をしてほしい。あまり信頼できない。
- ・よく話を聴いてくれる先生です。もう4年の付き合いです。毎日お勤め御苦労さまです。
- ・僕は家で頑張ろうと思うと心がしんどいことを先生に伝えている。ただ診察時間が3分しかなく短いので長くしてほしい。
- ・ガンバツテ結婚を！
- ・いつもありがとう。
- ・いつまでも元気でいて下さい。

サッカー・ワールドカップ岡田ジャパンに一言と期待度は何%？

感想・投稿 募集中！
今思っていること、ぱる通信の感想、詩、俳句、絵、ジャンル不問です。郵便、メール、fax等でご投稿ください！お待ちしております。



- ・まず1勝を！ 20%
- ・まあがんばってください 10%
- ・岡ちゃんの悪運の強さを期待して、相手チームに災いが起こる可能性大！ 30%
- ・実はサッカーはよく解らないけど最近スポーツの楽しさが解ってきたので自分なりに注目したいです★頑張ってください★10%
- ・おれをフォワードに器用してくれ！85%
- ・ドゥスン ドゥスン パンパンはっはっはー！がんばれー！がんばれー！負けてもともと。50%
- ・できればベスト8！ 50%
- ・4強入りは無理だろ？10%
- ・どうせ勝てません。0%
- ・がんばれー！日本ー！58%
- ・なんと決勝トーナメントに！ 20%

やや期待度は低めですがみんなで応援しましょう！

ぱるっこの期待度

31%

INFORMATION

6月活動予定

1	火	陶芸教室	13:00～
2	水	パソコン教室	14:00～15:00
3	木		
4	金	ちぎり	
5	土	ギターサークル	10:30～12:00
		パソコン教室	11:00～12:00
6	日	「ぱる」休み	
7	月	「ぱる」休み	
8	火	陶芸教室	13:00～
9	水	パソコン教室	14:00～15:00
10	木		
11	金		
12	土	パソコン教室	11:00～12:00
13	日	「ぱる」休み	
14	月	「ぱる」休み	
15	火	陶芸教室	13:00～
16	水	つどい	13:30～15:00
		パソコン教室	14:00～15:00
17	木		
18	金	ボーリング大会	
19	土	ギターサークル	10:30～12:00
		パソコン教室	11:00～12:00
		お抹茶教室	14:00～
20	日	「ぱる」休み	
21	月	「ぱる」休み	
22	火	陶芸教室	13:00～
23	水	パソコン教室	14:00～15:00
24	木		
25	金	もも太郎杯 岡山ドーム	
26	土	家族会総会	
		「ぱる」休み	
27	日	「ぱる」休み	
28	月	「ぱる」休み	
29	火	陶芸教室	13:00～
30	水	パソコン教室	14:00～15:00

イベント案内

16(水) つどい 「将来の夢、今後の目標」

「将来の夢、今後の目標」というテーマで自由に自分の意見を伝えます。「言いつ放し・聞きっぱなし」が原則です。

場 所	ぱる・おかやま1階
時 間	13:30～15:00

18(金) あすなろ福祉会 ボーリング大会

年1回の恒例行事。今年も盛大に行います。豪華景品を目指して盛り上がりましょう。

参加費	300円
場 所	フェアレーン
時 間	15:30～18:00

25日(金) もも太郎杯 IN 岡山ドーム

岡山市内の病院などの関係機関のソフトボールチームが4月30日のリーグ戦を戦い、最終順位を決定する大会です。アスナローズも総合優勝をかけて参加します。

場 所	岡山ドーム
時 間	9:00～16:00

26日(土) あすなろ家族の会 総会

1年に一度の家族会総会を行います。家族会活動報告、あすなろ福祉会活動紹介、報告を行います。家族との交流もありますので、ぜひご参加下さい。

場 所	せっけんセンター
時 間	13:30～16:00

- 陶芸教室 (場所: せっけんセンター)
 - ソフトボール (場所: 百間川グラウンド)
 - パソコン教室 (場所: ぱる・おかやま)
 - お抹茶教室 (場所: ぱる・おかやま)
 - ギター教室 (場所: せっけんセンター)
- 毎週火曜日 13:00～
 - 毎週火曜日 15:30～
 - 毎週水曜日 14:00～
 - 毎週土曜日 11:00～
 - 19日 14:00～
 - 第1、第3、土曜日 10:30～

あきらめないで一步一步 前に進んで欲しい

あすなろ家族の会会長

小森 清子さん



私の娘は現在30歳。高校1年生の17才までは、毎日学校に通い、普通の人生を送っていました。それが、学校が台風で休校になって以来、ピタッと行かなくなり、それから1年後に発病しました。

最初の病名は心因反応でしたが、1年後、統合失調症の診断を受けました。

発病してから数年間は、入退院の繰り返しで、親子共々、暗い暗いトンネルの中にいました。

ようやく光がさしたのは、「ぱる・おかやま」のソフトバレーボールに、娘と参加したことからでした。それまでは学校にも行かず、閉じこもり気味だった娘に変化が出てきたのです。

「バレーに参加している利用者さんは、みんな同じ病気を抱えているのにとっても元気で、はつらつしている。この病気があってもこんなに元気でやれるんだ!」

そこから少しずつ自信が出てきて、バレーをしながら職親制度を利用し、働きはじめました。現在では、役場の保健師さんの協力も得て、「観光農園」で働いています。

そして、職場で知り合った男性と昨年結婚して、現在では2人での生活を送っています。

発病した当時は、この子の人生をすべて受け止めて、抱きかかえて生きていこうと思っていました。しかし今では、「私が死んでからもこの子の人生は続いていく。私がいなくなっても生きていけるように育ててやるのが究極の子育てだ」と感じています。

最近では、副作用の少ない薬も増えてきました。薬がきちんと合えば必ず良くなっていくと思います。主治医と相談しながら、色んな薬を微調整し、本人にぴったりの薬に出会うことで、大きくその後の人生が変わってくると思います。

みなさんもあきらめないで、時間はかかるかもしれないですが、一步一步前に進んで行ってください。

今後は、会長として家族会に携わり、自分に何ができるのかと常に考えています。自分の仕事を生かし、当事者の方々が働ける場所を作りたいという夢もあります。

今まで辛いことがたくさんありましたが、いつまでも思い出していたら前には進めません。「落ちるところまでいったら、あとは怖いものはない! 人生一度きりしかないから、楽しいことをしよう!」というのが私のモットーです。

[表紙写真の吉田さんと小森さん]

小森さんは、吉田シェフが作る「日替わりランチ」を目当てに、娘さん夫婦と一緒に何度も食事を楽しんでいる。娘さんの結婚式の打ち合わせの場としてもMOMOの場を利用したと話してくれた。

[編集後記]

就職はゴールではありません。むしろ、仕事人生の始まりでもあります。しかも次々とハードルがやってきます。日々の仕事の中で対処法を身につけていきたいですね。(井手)

